

# 2019年 秋（9月～11月）の天候経過

令和 元年12月2日  
新潟地方气象台

## 1. 北陸地方の今秋（9月～11月）の特徴

### 【かなりの高温・少雨・多照】

9月は高気圧に覆われて晴れた日が多く、複数の台風が日本に接近または上陸・通過し、暖かい空気が流れこんだ影響もあり、かなりの高温、かなりの少雨、かなりの多照となった。10月は台風や低気圧および前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れこみやすく、かなりの高温、かなりの多雨、かなりの寡照となった。11月は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の降った日もあったが、低気圧が日本の北を通過しやすく、高気圧に覆われて晴れた日が多く、かなりの少雨、かなりの多照となった。

気温は、9月と10月はかなり高く、3か月合計の平均気温はかなり高く、1946年からの統計開始以来、2004年と並び最も高かった（平年差+1.2℃）。

降水量は、9月と11月はかなり少なく、10月はかなり多かった。3か月合計の降水量は少なかった。

日照時間は、9月と11月はかなり多く、10月はかなり少なかった。3か月合計の日照時間は多かった。

## 2. 3か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	9～11月	9月	10月	11月
平均気温平年差	+1.2℃	+1.6℃	+1.6℃	+0.4℃
階級	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並
降水量平年比	77%	40%	154%	56%
階級	少ない	かなり少ない	かなり多い	かなり少ない
日照時間平年比	108%	120%	82%	129%
階級	多い	かなり多い	かなり少ない	かなり多い

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したものです。

## 3. 月別の天候経過

（9月）【高気圧に覆われて晴れた日が多く、上旬と下旬には台風からの暖かい空気の流れこみもあり、かなりの高温、かなりの少雨、かなりの多照】

上旬は、期間の前半は前線の影響を受けて曇りや雨の日が多かったが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。また、台風第13号、第15号が、日本付近に接近または上陸・通過した。台風による暖かい空気の流れこみもあり、気温はかなり高く、9月上旬として1961年の統計開始以来、1961年と並び高い方の3位を記録した（平年差+2.0℃で、1位は2010年の+3.1℃）。

中旬は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多く、降水量はかなり少なかった。

下旬は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。

以上から、9月の日照時間はかなり多く、降水量はかなり少なくなり、北陸地方の9月としての降水量の平年比は1946年の統計開始以来少ない方の3位を記録した（平年比40%で、1位は2009年の32%）。また、複数の台風が日本に接近または上陸・通過した影響もあり、気温はかなり高

くなった。

**（10月）【台風や低気圧及び前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れこみやすく、かなりの高温、かなりの多雨、かなりの寡照】**

上旬は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。また、台風第18号およびそれから変わった温帯低気圧が日本海を通過し、南から暖かい空気が流れ込んだ。このため、気温はかなり高かった。

中旬は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。また、12日から13日は、東日本から北日本を上陸・通過した台風第19号の影響で大雨となり、新潟県で初めてとなる大雨特別警報が上越市、糸魚川市、妙高市を対象に発表された。このため、降水量はかなり多く、10月中旬として1961年の統計開始以来、高い方の2位を記録した（平年比267%で、1位は2004年の281%）。

下旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わったが、南から暖かく湿った空気が流れこみやすかったため、曇りや雨の日が多くなった。また気温はかなり高くなり、10月下旬として1961年の統計開始以来、最も高かった（平年差+2.0℃で、それまでの1位は1977年の+1.9℃）。

以上から、10月の気温はかなり高く、降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なくなり、北陸地方の10月としての気温の平年差は1946年の統計開始以来、高い方の3位を記録した（平年差+1.6℃で、1位は1998年の+2.0℃）。

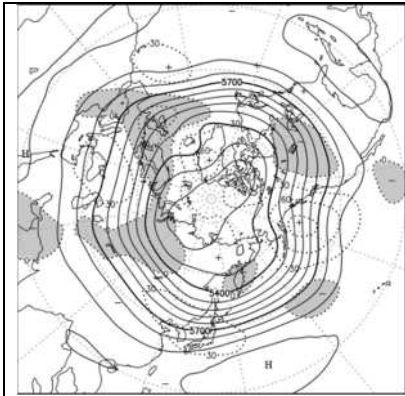
**（11月）【気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の降った日もあったが、低気圧が日本の北を通過しやすく、高気圧に覆われて晴れた日が多く、かなりの少雨、かなりの多照】**

上旬は、前線や湿った空気の影響で雨の降った日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多く、降水量はかなり少なかった。中旬は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線に向かって、南から暖かく湿った空気が流入し、曇りや雨の日が多くなった。下旬は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の降った日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多く、降水量はかなり少なくなり、11月下旬として1961年の統計開始以来、少ない方の1位を記録した（平年比27%で、それまでの1位は2009年の42%）。

以上から、11月の降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多くなり、北陸地方の11月としての日照時間の平年比は1946年の統計開始以来、多い方の3位を記録した（平年比129%で、1位は1954年の142%）。

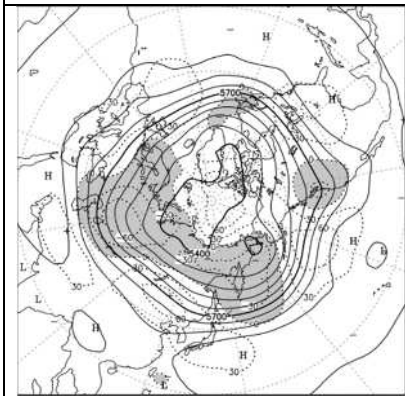
#### 4. 大気の流れから見た今秋の特徴（500hPa 天気図）

等高度線（実線）の間隔は60m、ハッチ域（陰影部）は平年より高度が低い部分（負偏差域）、白抜き域は平年より高度が高い部分（正偏差域）にそれぞれ対応している。



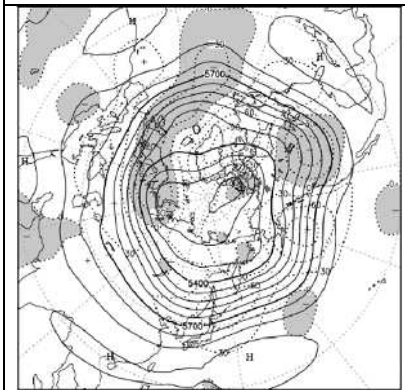
##### 9～11月

本州付近は帯状に正偏差に覆われており、大陸から進んできた高気圧に覆われやすかったことを示している。また、日本の東海上も正偏差となっており、東・西日本には南からの暖かい空気が流れ込みやすかったことと対応している。沖縄・奄美付近も正偏差に覆われ、暖かい空気に覆われやすかったことを表している。



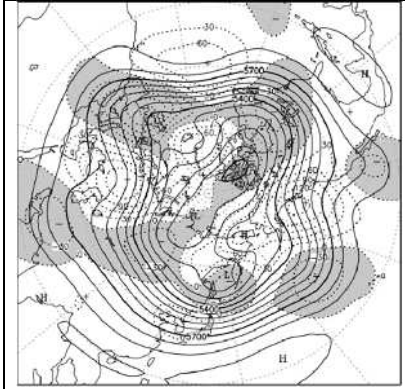
##### 9月

亜熱帯高気圧の日本付近への張り出しが強く、バイカル湖付近でもリッジが明瞭だったため、日本付近は本州を中心に高度が高く、暖かい空気に覆われやすかった。一方、カムチャツカの東からオホーツク海にかけて高度が低く、北日本では寒気の影響を受けた時期もあった。



##### 10月

日本付近では、北日本を中心に日本の東海上にかけて高度が高く、北・東・西日本では暖かい空気に覆われやすかった。また、日本の南東海上では亜熱帯高気圧が強く、北・東日本太平洋側を中心に湿った空気が流れ込みやすかった。



##### 11月

東・西日本から沖縄・奄美では正偏差で、高気圧に覆われやすかったことや、暖かい空気に覆われやすかったことに対応している。一方、オホーツク海付近では負偏差となり、北日本は寒気の影響を受ける時期があった。

## 5. 参考資料

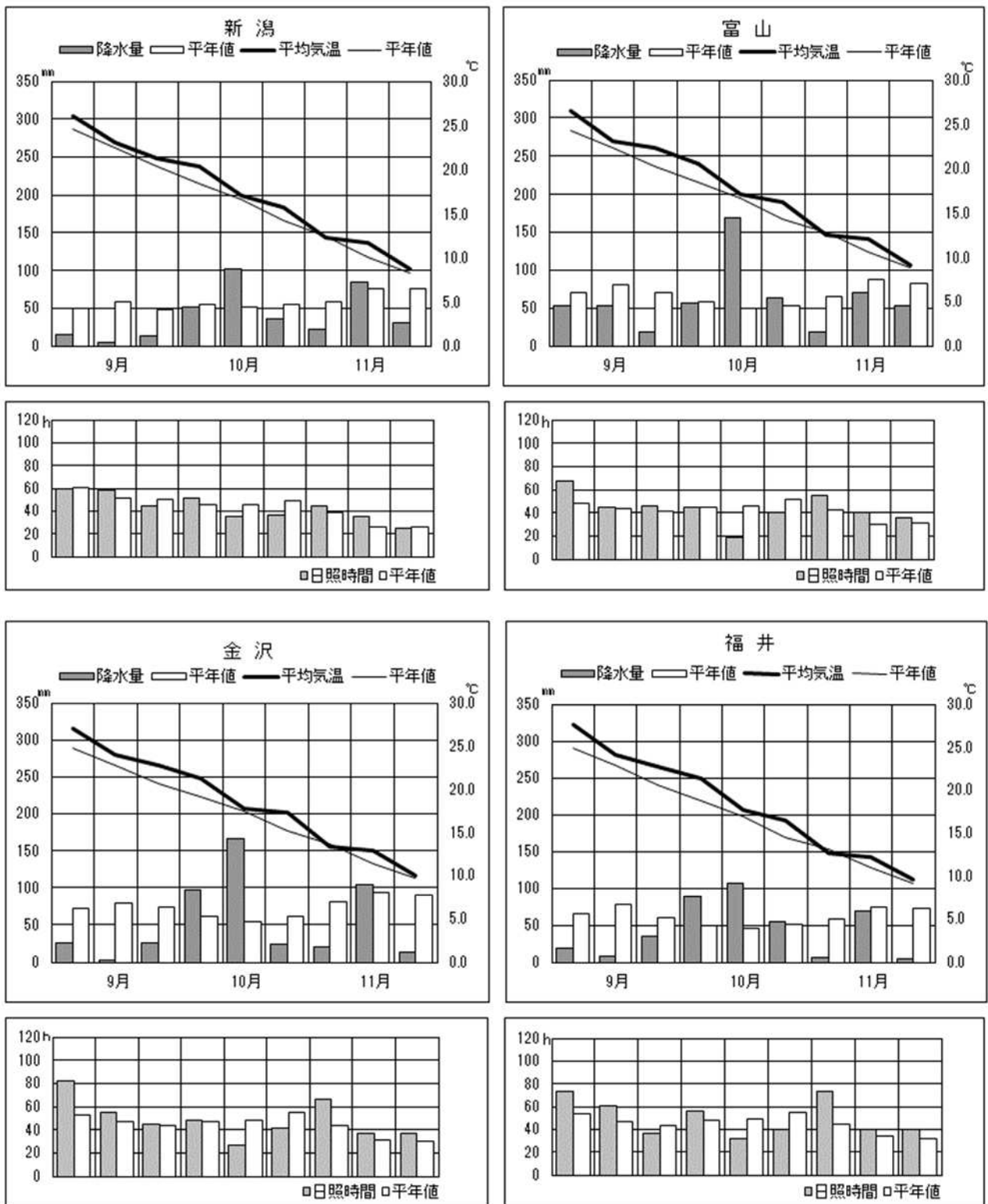


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における9～11月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	9月		10月		11月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	23.4	+0.9 ( + )	17.7	+1.4 ( +* )	11.0	+0.7 ( + )	17.4	+1.0 ( + )
高田	23.3	+1.3 ( + )	17.4	+1.4 ( +* )	10.5	+0.3 ( 0 )	17.1	+1.0 ( + )
相川	23.2	+1.1 ( + )	18.2	+1.3 ( +* )	11.6	0.0 ( 0 )	17.7	+0.8 ( + )
富山	24.0	+1.7 ( + )	17.9	+1.5 ( + )	11.2	+0.4 ( 0 )	17.7	+1.2 ( + )
伏木	24.0	+1.6 ( +* )	18.1	+1.5 ( +* )	11.3	+0.4 ( 0 )	17.8	+1.2 ( +* )
金沢	24.6	+1.9 ( +* )	18.7	+1.6 ( +* )	12.1	+0.6 ( 0 )	18.5	+1.4 ( +* )
輪島	22.9	+1.3 ( + )	17.6	+1.7 ( +* )	10.7	+0.2 ( 0 )	17.1	+1.1 ( + )
福井	24.8	+2.1 ( +* )	18.5	+1.9 ( +* )	11.5	+0.5 ( 0 )	18.3	+1.5 ( +* )
敦賀	25.5	+2.1 ( +* )	19.3	+1.7 ( +* )	12.9	+0.6 ( 0 )	19.2	+1.4 ( +* )
北陸平均		+1.6 ( +* )		+1.6 ( +* )		+0.4 ( 0 )		+1.2 ( +* )

降水量	9月		10月		11月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)
新潟	30.5	20 ( -* )	188.5	118 ( + )	137.0	65 ( - )	356.0	68 ( -* )
高田	154.5	75 ( - )	317.0	150 ( +* )	245.0	72 ( - )	716.5	94 ( 0 )
相川	77.0	54 ( - )	181.0	145 ( + )	110.5	70 ( - )	368.5	87 ( 0 )
富山	125.0	57 ( - )	286.5	178 ( +* )	140.5	60 ( -* )	552.0	90 ( 0 )
伏木	89.0	42 ( - )	289.5	189 ( +* )	89.0	39 ( -* )	467.5	79 ( - )
金沢	55.5	25 ( -* )	286.5	161 ( +* )	138.0	52 ( -* )	480.0	72 ( - )
輪島	71.0	33 ( -* )	187.5	120 ( + )	171.0	75 ( - )	429.5	72 ( - )
福井	62.0	31 ( -* )	248.0	171 ( +* )	80.5	39 ( -* )	390.5	71 ( - )
敦賀	37.0	20 ( -* )	203.0	150 ( +* )	57.0	31 ( -* )	297.0	58 ( -* )
北陸平均		40 ( -* )		154 ( +* )		56 ( -* )		77 ( - )

日照時間	9月		10月		11月		3か月合計	
	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)
新潟	161.9	99 ( 0 )	122.2	87 ( - )	104.9	117 ( + )	389.0	99 ( 0 )
高田	154.9	120 ( +* )	110.7	82 ( - )	115.1	111 ( + )	380.7	103 ( 0 )
相川	181.9	119 ( + )	136.2	89 ( - )	115.4	123 ( +* )	433.5	109 ( + )
富山	157.7	118 ( +* )	103.5	73 ( -* )	130.9	127 ( +* )	392.1	103 ( 0 )
伏木	167.0	121 ( +* )	114.5	79 ( -* )	135.7	136 ( +* )	417.2	109 ( + )
金沢	181.1	126 ( +* )	115.3	77 ( - )	140.2	135 ( +* )	436.6	110 ( + )
輪島	174.5	126 ( +* )	123.6	87 ( - )	117.6	133 ( +* )	415.7	113 ( +* )
福井	170.9	120 ( + )	127.5	84 ( - )	153.0	139 ( +* )	451.4	112 ( + )
敦賀	181.6	130 ( +* )	118.1	81 ( - )	146.3	137 ( +* )	446.0	114 ( +* )
北陸平均		120 ( +* )		82 ( -* )		129 ( +* )		108 ( + )

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) :低い(少ない), (0) :平年並, (+) :高い(多い)

(-\* ) :かなり低い(かなり少ない), (+\* ) :かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、「×」は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせませんが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

注4) この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。

なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。

表2 北陸地方における9～11月の累年極値・順位（3位以内）更新

◎月平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高（西暦） ℃	統計開始年	平年値 ℃
9	3	福井	24.8=	+2.1	25.1(1999)	1897	22.7
		敦賀	25.5	+2.1	25.6(2007)	1898	23.4
10	2	輪島	17.6=	+1.7	18.1(1998)	1929	15.9
	3	相川	18.2	+1.3	18.7(2013)	1911	16.9
		金沢	18.7	+1.6	19.3(1998)	1882	17.1
		福井	18.5	+1.9	18.8(1998)	1897	16.6
		敦賀	19.3	+1.7	19.7(1998)	1897	17.6

注) =はタイ記録を示す。

◎月降水量少ない方から

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最高（西暦） mm	統計開始年	平年値 mm
9	1	敦賀	37.0	20	54.4(1928)	1898	188.2
	2	金沢	55.5	25	21.6(1895)	1882	225.5
		福井	62.0	31	60.5(1995)	1897	202.3
11	1	伏木	89.0	39	94.8(1952)	1884	230.6
	2	敦賀	57.0	31	56.5(1984)	1897	185.0

◎月間日照時間多い方から

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最高（西暦） h	統計開始年	平年値 h
11	2	伏木	135.7	136	141.3(1954)	1893	100.1
		金沢	140.2=	135	145.2(1909)	1891	104.1
	3	福井	153.0	139	165.4(1954)	1898	110.0

注) =はタイ記録を示す。

◎3か月間平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高（西暦） ℃	統計開始年	平年値 ℃
9-11	1	金沢	18.5=	+1.4	18.5(1998)	1882	17.1
		福井	18.3	+1.5	18.0(2011)	1897	16.8
		敦賀	19.2	+1.4	19.0(2004)	1898	17.8
	2	富山	17.7=	+1.2	17.8(2004)	1939	16.5
		伏木	17.8	+1.2	18.0(1961)	1884	16.6

注) =はタイ記録を示す。

## 6. 北陸地方気象官署における寒候期現象（2019年11月30日まで）

表3 初冠雪

山岳名	観測気象官署	今年	昨年	平年	これまでの最早
立山	富山地方気象台	10.22	10.21	10.8	1981.9.14
白山	金沢地方気象台	10.28	11.1	10.17	1913.9.1

表4 初霜・初氷・初雪

※空欄は期間内の観測なし

		初霜			初氷			初雪		
		今年	昨年	平年	今年	昨年	平年	今年	昨年	平年
新潟県	新潟	11.22	12.2	11.25	11.22	12.2	12.1	11.28	12.8	11.24
富山県	富山	11.22	12.2	11.20		12.10	11.27		12.8	12.2
石川県	金沢	11.29	12.2	12.1		12.16	12.9		12.8	11.29
福井県	福井	11.22	12.10	11.24	11.29	12.10	12.2		12.9	12.2

## 7. 天候情報発表状況

なし

（注）この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。